



かわさき

令和3年度川崎小
学校だより
第13号
8月26日発行
文責 校長

7月の家族読書カードより

明日は家族読書の日です。いつも家族読書にご協力をいただき、ありがとうございます。

題名：いちにちじごく
1年

うそをつかないでいようね。

【母】悪いことをしたら地獄…。1日だけの体験だったから良かったねと一安心していました。



題名：銭天堂4
4年

いろいろな駄菓子を売っていて、その駄菓子を作る金のまねきねこさんがすごいと思った。

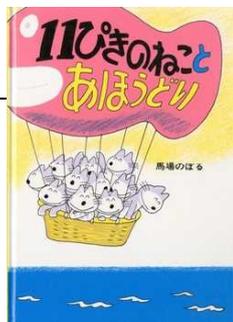
【母】いろいろたくらむ「よどみ」さんを見事に菓子であしらう紅子さん。大人ですね。



題名：11ぴきのねことあほうどり
2年

ころっけがたべたくなりました。

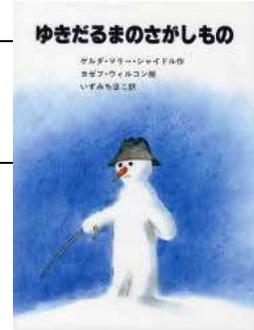
【母】コロッケをたくさん作っていく様子と、息子の大好きなメニューなので、読みながら「おいしそうだねえ～」と話しました。



題名：ゆきだるまのさがしもの
5年

ゆきだるまが花を目的に長い時間さがして、花と出会えてよかった。

【母】雪だるまと花の季節の違う物のお話でした。温室の花に出会えた雪だるまでしたが、とけてしまい切ない気持ちにもなりました。



題名：海色ダイアリー
6年

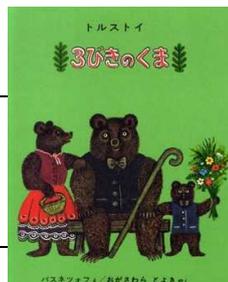
この本は友達にオススメされた本で、ここには男の五つ子が出てくるんですが、双子だからこそ分かる楽しみがあり、とても同感させられました。両親をなくしたため、その自まんの顔で働き、かせぐのですが、一人が体調をくずしたら、別の兄弟が代わりに行く。五つ子ならではの利点ですよ！



題名：3びきのくま
3年

女の子がくまにたべられそうになるところがかわいそうでした。

【父】女の子は悪い事をして、熊が怒っているのに、ただ逃げて、何とも言えない話でした。



【母】双子だけでも大変なのに五つ子だなんて。お父さん、お母さんはすごいと最初に思っていました(笑)。そっくりだからピンチのときに入れ替わってもバレないなんて、うらやましいです。